

# 施政方針 予算の概要



2月3日にオープンした徳山駅前賑わい交流施設

平成30年度

## 施政方針

はじめに

「いつ行っても発見があるんです」

「図書館って楽しいところなんだ」

「街の活気をつくるチャンスです」

2月3日にオープンした徳山駅前賑わい交流施設と「徳山駅前図書館」の完成を待ちに待った市民の皆さんから、私に届いた声です。

これまでも、徳山駅は、このまちの転換期に大きく関わってきました。

1つ目の転換期は、今から100年以上前。まちが工業都市へと歩み始めるきっかけとなる時期です。

明治30年、山陽鉄道の終着駅として開業した徳山駅は、本州と九州の連絡基地であった港とともに旅客と貨物が集まり、まちに好景気をもたらしました。しかし、その4年後に鉄道が下関まで開通し、徳山駅は通過駅となり、まちは衰退していきまふ。この状況を打破するため、当時の野村恒造徳山町長は、まちをあげて海

軍練成製造所を誘致し、現在の「周南コンビナート」の礎を築きました。



2つ目の転換期は、高村坂彦徳山市長の時代です。高村市長は、鉄道事業者と地元が共同で行う「民衆駅」建設に取り組み、昭和44年、山口県初となる徳山駅ビルが誕生し、さらにその6年後には、徳山駅に新幹線の駅が併設されました。

この在来線と新幹線が乗り入れる徳山駅の利便性は、さらに高まり、現在では、新幹線のぞみ号が1日16本停車するなど、周南地域の玄関口として地域経済の発展に大きく寄与してきました。

このように徳山駅は、本市のまちづくりには大きな影響を及ぼしてきました。そして、当時の町長や市長をはじめ、まちの発展に寄与された多くの先人達のご尽力が、今もこのまちを支えています。このまちは徳山駅から新しい挑戦が始まっていることを、改めて胸に刻みたいと思います。

駅力が、まちの力になってきた歴史。

「歴史は繰り返す」

とどういことわざがありますが、今、まさに徳山駅を中心としたまちづくりは、大きな転換期にあり、またとないチャンスが到来しています。

特に、賑わい交流施設の完成を弾みとし、徳山駅前地区市街地再開発準備組合におかれましては、徳山商工会議所、中心市街地活性化協議会、株式会社まちあい徳山などと連携して、市街地再開発事業の実現に向けた取り組みを加速されておられます。

私は、市長として、この再開発事業を関係者の皆さんと共にやり遂げたい。その思いを強く持っています。

徳山駅前の賑わいを中心市街地へ。そして、さらに市内全域へと広げていく。そのためには本市にしかない強みを生かし、まち全体の活性化に挑み続けなければなりません。

私は、そのためのヒントは、本市の中山間地域の取り組みの中にあると感じています。

人口減少や著しい高齢化に直面している中山間地域では、地域の存続に危機感を抱き、住民自らが立ち上がり、地域の未来を切り拓く果敢な

挑戦が続けられています。

その原動力は地域への愛着とそこで暮らすことの誇りです。この愛着と誇りの強さが、人を動かし、人と人をつなぎ、人と地域をつなぎ、地域の活力を生み出しています。

自分達の暮らす地域の夢を自らが描き、自らが実践しようという動きは、中山間地域から市内全域へと広がりはじめています。

この動きを市民の幸せ、まちの活力へとつなぎ、その成果を目に見える形で市民の皆さんに実感していただきたい。

そのために、平成30年度は、私がまちづくりのテーマに掲げる「共に」のまちづくりを強化する方針として「さらなる挑戦と英知の結集」を掲げました。

非常に厳しい財政状況だからこそ問われるのは知恵の力、結束する力です。市民の安心安全を守り、将来にわたり必要な行政サービスを継続し、他にはない素晴らしいまち周南市の新しい物語を、共に創っていくことではありませんか。

それでは、第2次まちづくり総合計画・前期基本計画の7つの主要な

プロジェクトに基づき、平成30年度の取り組みに対する私の想いを述べさせていただきます。

ていただきます。

## 社会で育む少子化対策プロジェクト

子ども達の元気な笑顔を

「共に」。未来へ贈りたい周南市をつくる。

1つ目は「社会で育む少子化対策プロジェクト」についてであります。

平成28年6月、「子育て世代包括支援センター はぴはぴ」を開設し、妊娠・出産・子育てに関するさまざまな相談にワンストップで対応する体制を整えました。「周南市版ネウボラ」をめざす「はぴはぴ」は、利用者の声やニーズに応え、常に進化していきます。平成30年度は、新たに産後つつの予防や新生児への虐待予防を図るため、出産後間もない産婦に対する健康診査を実施いたします。

「たくさん友達ができました。毎日、元気に通っています」

公立保育所の再編整備により、平成29年4月に開設した民間保育所にお子さんを預けておられるお母さんは、嬉しそうに話されました。

平成30年4月には、福川保育園の民営化により、認定こども園が開設します。今後も民間事業者と連携し、多



様化する保育ニーズへ対応できる保育環境の整備を進めてまいります。

「子育てするなら周南市」

誰もが安心して子どもを育てられる環境づくりに引き続き、挑戦してまいります。

「まちが良くなるアイデアを考えるのは面白かった。もっと勉強して将来は議員になりたい」

今年度のこども議会に参加してくれた小学生は、このまちの未来や自分の夢を語ってくれました。



コンビナート企業消防隊の訓練の様子

「子ども達が生まれ育つた環境によって将来を左右されることなく、学び、チャレンジできるまち」への挑戦を進めてまいります。

平成30年度は、今年度実施した「子どもの生活に関する実態調査」の結果を踏まえ、子どもの居場所づくりをモデル的に実施するとともに、「子どもの貧困問題」への理解を深めていただくため、啓発セミナーや研修会を開催します。

また、経済的な理由で特に修学が困難な学生を対象とした給付型「修学支援奨学金」を創設し、子どもの貧困対策を強化するとともに、大学等を卒業後、市内に3年以上住み続けた場合には返済が不要となる「定住促進奨学金」を創設し、若者定住を図ります。

子どもは地域の宝、そして、次世代への支援は、未来への投資です。

学校教育施設の環境整備にも、しっかりと取り組んでまいります。久米中央土地区画整理事業の進展により、久米小学校に通う児童が急増しています。その対応として、新校舎の建設に着手するとともに子どもたちが安心して学べるよう、引き続き、小中学校の改修を計画的に実

### 揺るぎない安心安全プロジェクト ～安心して暮らせるまちを～

「共に。」 未来へ贈りたい周南市をつくる。

2つ目は、「揺るぎない安心安全プロジェクト」についてであります。

「消防本部と共に訓練を行うことで、従業員の防災意識が向上しました」「自分達の技術で被害を軽減できる自信」が「確信」に変わりました

消防庁主催の「石油コンビナートにおける自衛防災組織の技能コンテスト」で、総務大臣賞受賞など毎年優秀な成績を収められている企業の消防隊員がそう話してくれました。

地域においても、本市の自主防災組織率は100%。

施してまいります。

さらに、中学校普通教室への空調設備の整備を前倒しし、平成31年度までの2年間ですべての中学校に整備し、健康で快適に学習に集中できる教育環境づくりを優先的に進めてまいります。

子ども達の元気な笑顔があふれる周南市を、共に創ってまいります。平成32年度中の供用開始をめざす西消防署庁舎の整備に伴い、新南陽総合支所を解体します。このため、総合支所の業務は、平成30年8月よりイオンタウン周南で行います。総合支所の今後の方向性につきましては、平成32年度までに決定したいと考えており、将来のまちづくりをしっかり見据え、地域の皆さんと共に検討を進めてまいります。

それぞれの地域の特色や災害特性に応じた自主防災活動が行われています。

毎年、11月の第3日曜日に行う市の総合防災訓練を、平成30年度は須金地区の自主防災組織の皆さんと一緒に実施いたします。

中山間地域では初の開催です。実り多い訓練になるようしっかりと取り組んでまいります。

新庁舎の建設にあわせて進めてまいりました防災情報収集伝達システムが平成30年度末に完成します。

全国に例のないこのシステムでは、複数の情報収集伝達手段を確保し、情報を伝えるだけでなく、河川の水

「子ども達も家族と一緒に橋守活動に参加してくれています。橋を守ることの大切さをこれからも伝えていきたいと思っています」

昨年8月に、老朽化した橋の点検や補修活動を行う市民団体「しゅうなんヤン橋守隊」の皆さんが国土交通大臣賞の受賞報告に市長室へ来られたときにそう話してくれました。

市が管理する市道は、全長約1200キロメートル。橋梁は約800橋です。

この道路や橋梁の維持管理には、道路利用者や市民の皆さんのご協力が必要です。平成30年度から運用を開始する道路の陥没などの異状箇所をスマートフォンなどで通報できるアプリも活用し、安心安全な道路の維持管理を行ってまいります。

また、古川跨線橋の架替えに向け

## 自立した地域づくりプロジェクト 〜地域による、地域のための、地域づくりを〜

「共に。」 未来へ贈りたい周南市をつくる。

3つ目は「自立した地域づくりプロジェクト」についてであります。

「共創プロジェクトがあったから、戸田・下苅谷地区が生き残れるかもしれません」

原木椎首栽培による耕作放棄地の再生や空き家の活用と障害者の就業機会の確保に取り組んでおられる方は、涙を浮かべて話をされました。

地域団体やNPO法人などの市民活動団体、学校、企業等が連携して、アイデアを持ち寄り、共に取り組む「共創プロジェクト」。

平成28年度から事業を開始し、プロジェクトの認定件数は17件で、プロ

では、「コンビニエント企業のご協力をいただきながら、渋滞緩和対策に取り組んでまいります。」

自助、共助、公助、そして、個人、地域、企業、行政がその役割を担い、揺るぎない安心安全のネットワークづくりをさらに進め、安心して暮らせるまちを、共に創ってまいります。

プロジェクト実施に関わる団体は44団体となりました。

今年度も、

「福川ランプの復刻とブランド化や新たなイベント『周南ランプフェス』に取り組むプロジェクト」、

「市内の酒蔵をタクシーで巡る新たな観光商品『タクシーツアー』に取り組むプロジェクト」、

「大津島特産の『すだいだい』を使った地ビール『島麦酒SUDAI DAIR』の開発・販売とブランド化に

取り組むプロジェクトなど13のプロジェクトが採択され、複数の団体によるコラボレーションが大きなエネルギーを生み、さまざまな化学反応を起しています。

志を持ち、前向きに取り組まれて

いる市民の皆さんが創出する共創による地域づくりを引き続き、支援してまいります。

また、市内にある31のコミュニティ組織では、それぞれの特性に応じた地域づくりも活発に行われていきます。地域のあるべき姿を自ら考え、自らが実践するための行動計画である「地域の夢プラン」は、これまで12の地域で策定され、さらに今年度からは3地域で策定作業がスタートしました。

その地域にしかない強みをさらに伸ばし、それぞれの地域が抱えている課題を解決するため、引き続き、夢プランづくりとその実現に向けた取り組みを支援してまいります。

そして、このつした地域の自主的・主

## まちじゅう賑わいプロジェクト 〜地域と拠点が連携し、安心・快適・活力を〜

「共に。」 未来へ贈りたい周南市をつくる。

4つ目は「まちじゅう賑わいプロジェクト」についてであります。

2月3日に開館した徳山駅前図書館は、お茶を飲みながら本を読んだり、勉強したり、おしゃべりを楽しむ

体的な取り組みをさらに進めてまいります。

そのため4月から、これまで地域の身近な拠点として愛され重要な役割を果たしてきた公民館を、生涯学習のみならず、地域づくりの実践など幅広い用途で活用できる市民センターに移行します。

公共施設再配置計画のモデル事業として進めてきました長穂地区の市民センターと支所、また、建設用地の取得が完了した遠石地区の市民センターの整備を、平成32年度中の供用開始をめざし進めてまいります。

市民センターを拠点に、地域の英知を結集した、地域による、地域のための地域づくりを、共に進めてまいります。

多くの来館者で連日賑わっています。

この賑わいを中心市街地へ呼び込もうと、中心市街地の活性化や賑わい創出に取り組むさまざまな民間団体が連携協力した新たな挑戦がすでに始まっており、大変嬉しく、心強く思っています。

まちづくりの主体は、市民であり



平成30年度オープン予定のペンギンエリアのイメージ

民間です。

徳山駅前賑わいを、中心市街地へさらに市全体へ広げていくための民間主体の取り組みをしっかりと支援し、支えてまいります。

フワフワ、ドキドキする中心市街地、いつも新しい発見や出会いがある中心市街地、昼も夜も賑わう中心市街地を取り戻す挑戦を共に進めてまいります。

徳山駅から海までは、直線距離で約220メートル。

平成34年に開港100周年を迎える徳山港は、本市の宝もの。

駅と港、そして中心商店街が隣接する本市の優位性を生かしたい。

港に人呼び込みたい。

昨年11月に周南観光コンベンション

協会と市が中心となって開催した

「第1回周南みなとまつり」は、そんな想いが詰まったイベントになりました。来場者はおよそ2万人。そして、本市の港ならではの体験コーナーには長い行列ができました。

交流人口の拡大につながるヒントが見えてきた「周南みなとまつり」のステップアップをしっかりと支援してまいります。

毎年、新たな施設が完成し、進化を続ける徳山動物園。

平成30年度には、「ペンギンエリア」と「北園広場」がオープンします。

そして、市民の皆さん待望のゾウ舎は、平成31年度のオープンをめざして整備を進めてまいります。

1月20日、徳山駅前と動物園周辺を15分間隔で結ぶ市街地循環線「ちよい乗り100円バス」の実証運行がスタートしました。

中心市街地内の回遊性を高め、賑わいを創出したい。

マイカーでの移動から「近距離をバスで移動する」という新しいライフスタイルを提案したい。

「周南市版市街地パーク・アンド・ライド」をめざしたこの社会実験を本年9月30日まで実施いたします。

昨年、本市は、国からコンパクトなまちづくり全国10のモデル都市に、中国地方で唯一選定されました。

人口減少や少子高齢化という喫緊の課題に対応するためにこれまで取り組んできた、コンパクトな市街地を形成し、拠点や地域を公共交通でつなげる「コンパクト・プラス・ネットワーク」の取り組みが高い評価を受けました。

平成30年度は、平成27年度から取り組みを進めております20年後の周

**産業活力・富の創出プロジェクト**  
誰もが活躍でき、活力溢れるまちを

共に、未来へ贈りたい周南市をつくる。

5つ目は、「産業活力・富の創出プロジェクト」についてであります。

周南コンビナートの物流を支え、本市の産業活力・富の創出の源泉である徳山下松港の港湾区域面積は全国第5位。そして、塩の輸入量と石灰石の移入量は日本第1位。さらに、コンビナート企業が保有する石炭火力自家発電施設の発電能力も日本第1位を誇ります。

今後大型船舶が入港可能となる大水深化の整備を国・県と共に進め、徳山下松港の価値をさらに高め

南市のあるべき姿を描く立地適正化計画全体を公表します。

立地適正化計画で本市の副都心と位置づけている新南陽駅周辺につきましては、利用者の利便性向上に向けた環境整備に取り組んでまいります。

地域と拠点が連携し、安心・快適な活力を生み出す周南市を、共に創ってまいります。

てまいります。

次世代のクリーンエネルギーとして期待されている水素の活用を進



新規就農者と意見交換する「共に。カフェ」の様子

めです。

コンビニエント企業で生産される高純度の水素を活用して、これまで燃料電池「ゴミ収集車の運行や、1000キロワット純水素燃料電池の活用など全国初となる実証実験に取り組みでまいました。こうした先進的な取り組みは、国内だけでなく海外でも紹介されるなど、本市の水素利用に向けた取り組みは、全国でもトップ集団を走っています。

平成30年度は、これら先進的な水素の実証実験を継続するとともに、水素関連産業への進出をめざす市内の中小企業を支援し「水素先進都市周南」へ向けた挑戦を進めてまいります。

「海外からもバイヤーが買い付けにきます」

「周りのイチゴ農家さんの育苗を担当することになりました」

新規就農した若い方々が、農業に賭ける思いや夢を明るく笑顔で語ってくれました。

認定新規就農者は、3年間で19人。新たな担い手の確保に向けた取り組みは確実に成果を上げています。

今後、全国に先駆けて導入した「技術研修」「農地の確保」「機械・施設整備」「住宅の確保」を一体的にサポートする「新規就農パッケージ支

援」を広くPRし、本気で農業を仕事にしたい人を応援します。

本年3月に国土交通省から引き渡しを受ける大島干潟においては、昨年11月に、漁業者と地域の住民による干潟保全活動組織「大島干潟を育てる会」が立ち上がりしました。平成30年度からは新たな体制のもと、地域と共に、干潟の保全をめざしてまいります。

また「周南たこのブランド化への挑戦をさらに進めてまいります。引き続き、産卵用たこのばの設置や「周南市地産地消推進協議会」と連携した認知度の向上の取り組みを進めるとともに、平成30年度は「周南さかなまつり」を開催して、しっかりとPRしてまいります。

若者や女性が「ビジネスに挑戦し、夢を実現できるまち」をめざします。引き続き、商工会議所や金融機関と連携した創業支援に取り組みとともに、若者や女性の雇用につながるクリエイティブ産業や情報・通信産業などの支援に挑んでまいります。

さらに、平成30年度は、女性の雇用創出に向けて推進体制を整備し、女性が働きやすく、活躍できる職場環境づくりを進めてまいります。

誰もが生き生きと活躍できる、活力溢れる周南市を、共に創ってまいります。

## 中山間地域振興プロジェクト 中山間地域から周南市の未来を拓く

「共に、未来へ贈りたい周南市をつくる。」

6つ目は、「中山間地域振興プロジェクト」についてであります。

「ふるさとを離れて初めて、自然や景色、食べ物や人柄といったこのまちな素晴らしさに気付くことができました」

昨年鹿野地区にUターンし、この春からパン屋を開業される方の言葉です。私は、心から「お帰りなさい」と言っておきたいと思えます。

若い頃、離れたかったまちが、いつしか帰りたいまちになっている。

そんな思いを持つ出身者の皆さんのUターンをこれからも支援してまいります。

Uターンだけでなく、その地域の魅力に惹かれた皆さんが移住してきており、着実に成果を上げています。

中山間地域には「わしらのことは、わしらで何とかせんにやあいけん」という危機感と揺るぎない地域への愛着と誇りが根付いています。



須金・元気な声が飛び交う地域

須金地区では、「人口の過疎化」は進んでも「心の過疎化」は進んでいない」を合言葉に、移住者を受け入れる活動をはじめとした地域活性化に向けた取り組みを進めた結果、全校児童が3名まで減少し休校寸前だった小学校に、今では15名の子ども達を通い、元気な声が飛び交う地域になりました。

八代地区では、地域にとって必要な生活交通手段について、地域の皆さんが主体的に検討された結果、昨年10月より、これまでバス路線がな

かつた集落の方も利用できる「ミニ二テイバス 友愛」の運行が開始されるなど、地域課題の解決に向けた挑戦が続いています。

また、三丘地区でも、小学生発案の野菜ジャムの商品化への取り組みや、空き家を改修し世話焼きおばさんが移住相談や婚活支援などを行う「三丘よろず承りカフェ」のオープンに向けて準備を進められるなど、新たな挑戦が始まっています。

このように、中山間地域の皆さんが地域の未来を考え挑戦しておられる姿を、私は誇りに思っています。地域と共に進める。そして、地域でできないことは行政がしっかりと支援してまいります。

平成30年度は、中山間地域への移

住を促進するため、新たに、空き家を借り上げ、移住希望者に貸し出す取り組みを開始するとともに、具体的な移住のイメージを広げるため、現地を訪れていただく移住ツアーを実施いたします。

また、須金地区では、平成30年度から3年間、地域おこし協力隊を配置し、生活支援システムの構築や観光商品の開発などの仕組みづくりを支援してまいります。

これまでの取り組みに加え、さらなる挑戦を行うことで、持続可能な中山間地域の実現をめざしてまいります。

中山間地域から周南市の未来を拓くまちづくりを、共に進めてまいります。

**将来に向けた行財政経営プロジェクト**  
〜今取り組んでこそ価値のあること〜

「共に。」 未来へ贈りたい周南市をつくる。

7つ目は、「将来に向けた行財政経営プロジェクト」についてであります。

平成15年の合併以降、市域の均衡ある発展を図るため、合併のスケー

繋げる持続可能なまちづくりが求められます。

本市の今後の財政運営を展望しますと、歳入では、市税収入の伸びは望めず、歳出では、進行する少子高齢化への対応をはじめとして、公債費の増や公共施設の老朽化対策などにより大幅な財源不足が見込まれるなど、非常に厳しい財政状況に直面します。

こうした厳しい状況をしっかりと認識し「第3次行財政改革大綱」に基づき、緊急財政対策による財源不足の解消に向けた取り組みや、PFIを活用した県内初となる学校給食センターの整備などを着実に進めます。

また、公共施設の老朽化への対応にも、先送りすることなく取り組んでまいります。

「公共施設再配置計画」の実現性と実効性を高めるため、現在「施設分類別計画」の策定を進めています。平

成30年度以降は、長寿命化による財政負担の軽減や平準化を進めるとともに、複合化や多目的化などにより、総量抑制に向けた取り組みを着実に進めてまいります。

本年の夏から業務を開始していく新庁舎は、徳山港町庁舎、教育委員会庁舎、上下水道局庁舎などを集約することにより、市民の皆さんにとって利用しやすい庁舎となります。また、集約化による行政内部の連携強化や事務効率の向上にも取り組んでまいります。

鹿野総合支所については、現在の場所から「コアプラザ」の「入移転」にあわせて、ホール機能を持った多目的スペースを整備する方向で調整を進めてまいります。

「今取り組んでこそ価値のあること」  
「今の市民のため、そして未来の市民のために必要なこと」を職員一丸となつて、共に進めてまいります。

**上記7つのプロジェクトに属さないが  
特記すべき重要な施策や想い**

これまで説明しました7つの主要なプロジェクトには「ございませんが、特に強い想いを持って進めたい主な

取り組みについてであります。  
老朽化が進み、交通のアクセスも

悪い休日夜間急病診療所は、徳山中  
央病院近くに移転することとし、平  
成30年度は建替えに向けた整備に着  
手いたします。

「みんなで『お互いさま』ありがとう」  
私もパネラーの1人として参加し

ました、平成28年12月に鹿野地区で  
開催された「地域医療とまちづくり  
を考える」シンポジウムで、会場の皆  
さんに共感を与えた言葉です。この  
3つの言葉を大切にし、高齢者が住  
み慣れた地域で生き生きと安心して  
暮らすことができるよう「地域包括  
ケアシステム」の構築を進めてまいり  
ます。さらに、専門的な視点から助  
言を受けられるよう、豊富な経験と  
知識を有した方を「福祉政策アドバ  
イザー」に任命し、職員のスキルアッ  
プを図り、より良い福祉施策を推進  
してまいります。

市民一人ひとりの人権が尊重さ  
れ、男性と女性が社会の対等なパー  
トナーとして活躍できるまちづくりに  
向けて、学校や地域社会、企業・職  
場における教育や啓発に、引き続き  
取り組んでまいります。

平成30年4月1日より、マイナン  
バーカードを利用した「コンビニエ  
ンストアなどでの住民票の写し、戸

籍証明書、所得課税証明書など、各  
種証明書の交付サービスを開始しま  
す。

この交付サービスの利用促進を図  
るため、マイナンバーカードの普及に  
取り組んでまいります。

本市ゆかりの人物を知ることが、  
郷土への誇りや愛着に繋がります。

引き続き、児玉源太郎やまど・み  
ちおをはじめとする本市が誇る先人  
達に関連する資料収集を行い、その  
功績を次世代に伝えてまいります。

平成30年度は、わが国の戦後写真  
界を牽引した本市出身の写真家、林  
忠彦の生誕100年を記念した特別  
展覧会を開催し「写真のまち周南市」  
を全国に発信してまいります。

また、明治150年となる本年は、  
「第35回全国都市緑化やまぐちフェ  
ア 山口ゆめ花博」など、さまざまな  
関連イベントが開催されますことか  
ら、県、近隣市町、関係団体と連携し  
て取り組んでまいります。

まちが大きく変わる。その絶好の  
チャンスを最大限に活かし、本市の  
魅力を発信するシティプロモーション  
を進めてまいります。

平成30年度は、市の職員自らが広  
報マンとなり、周南市の魅力を全国

に発信する全国キャラバンを実施し  
ます。

職員自らが知恵を出し、汗をか  
き、挑戦し続けている周南市をPR  
し、本市の認知度向上につなげてま  
いります。

## おわりに

平成23年6月23日、市議会本会  
議。

厳粛なこの議場で、私が市長とし  
てはじめて行った所信表明演説で、  
市役所本庁舎を建て替える決意を述  
べさせていただきました。

議会をはじめ、市民委員会、シンポ  
ジウム、出前トークなどさまざまな  
機会を通じて皆さんのご意見をお伺  
いしながら、強い想いを持って取り組  
みを進め、いよいよ、今年の夏から新  
庁舎で業務を開始します。

さらに、平成31年3月末には、市民  
の皆さんにご利用いただける会議室  
や、気軽に立ち寄れるカフェ・レスト  
ランが入る「仮称シビックプラザト  
ホーム」が完成します。

新庁舎は、市民の安心安全を確保  
する防災拠点、そして、市民が気軽に  
集い、交流する「安心」と「つながり」  
のまちづくりの拠点へと生まれ変わ

ります。

平成30年、これまでに蒔いた種が  
芽吹き、まちのシンボルが次々と生  
まれ変わり、まちが新たな一歩を踏  
み出します。

そして「生まれ変わるまちは、挑  
み続けるまちへ」

市民の皆さんの英知を結集し、さ  
らなる挑戦を続けてまいります。

このまちの未来のために、今でき  
ること、今やっておかなければならな  
いことがあります。

未来を考えた時に、いま何に挑戦  
していくことが必要か。

挑戦することを恐れずに前へ。ま  
ちが変わっていく喜びを感じながら、  
未来へ。

共にの想いで挑戦する周南市政  
への変わらぬご理解、ご協力を重ね  
てお願いいたします。

共に進めましょ。

平成30年2月21日

周南市長

木村健一郎

# 予算の概要

## 予算編成の基本方針

平成30年度予算編成は、第2次まちづくり総合計画に掲げる将来の都市像である『人・自然・産業が織りなす 未来につなげる 安心自立都市 周南』の実現に向け、7つのプロジェクトを重点的に進めるとともに、人口減少問題を克服するため「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく施策の着実な展開を図りました。

また大幅な財源不足が見込まれる中での予算編成となり、財源不足解消に向けた取り組みの強化として、新たに「緊急財政対策」を策定し、徹底した歳入確保と歳出の抑制、事業の選択と集中などにより、財源の確保に努めました。

## 予算の特徴

一般会計の予算は、庁舎建設の進捗や徳山駅前賑わい交流施設の完成などにより、本市誕生後最大規模であった前年度に比べ65億400万円、9.2%減の643億3500万円と

なりました。

平成30年度は新市建設計画の最終年にあたり、合併特例債や地方交付税などの合併優遇措置が終了するため「合併後のまちづくり」から、「次の世代につなげる持続可能なまちづくり」へ大きく舵を切っていく節目の年となります。

歳入は、固定資産税が減となるものの法人市民税などの増により、市税全体で約4億4300万円の増となっています。一方、地方交付税は、法人市民税が大幅に増となったことなどにより2億8500万円の減となりました。繰入金は、地域の均衡ある発展のために、合併特例債を使って積み立ててきた地域振興基金を活用するとともに、財源調整のため財政調整基金を取り崩しています。市債は約76億2500万円で、庁舎建設など大型事業の進捗により約42億200万円の減となっています。

歳出は、財源の厳しい中でも、子ども関連予算や地域づくり、安心安全などに関する予算について、未来に向けて必要な事業として重点的に予算配分を行いました。

## ■ 会計別予算

区 分	予算額	構成比	増減率
一般会計	643億3,500万円	40.7%	△ 9.2%
特別会計	316億305万円	20.0%	△ 10.8%
国民健康保険	165億880万円	10.4%	△ 15.4%
国民健康保険鹿野診療所	6,722万円	0.0%	△ 3.4%
後期高齢者医療	24億7,843万円	1.6%	5.6%
介護保険	122億5,311万円	7.7%	△ 6.2%
地方卸売市場事業	1億6,749万円	0.1%	△ 38.9%
国民宿舎	9,205万円	0.1%	△ 4.5%
駐車場事業	3,595万円	0.0%	△ 25.6%
水道事業会計	58億9,365万円	3.7%	△ 3.2%
下水道事業会計	88億1,204万円	5.6%	△ 8.4%
病院事業会計	38億1,382万円	2.4%	2.1%
介護老人保健施設事業会計	4億2,323万円	0.3%	△ 1.3%
モーターボート競走事業会計	432億6,182万円	27.4%	35.2%
合 計	1,581億4,262万円	100.0%	0.0%

※端数処理の関係上、数値の集計が合計欄と合わない場合があります。

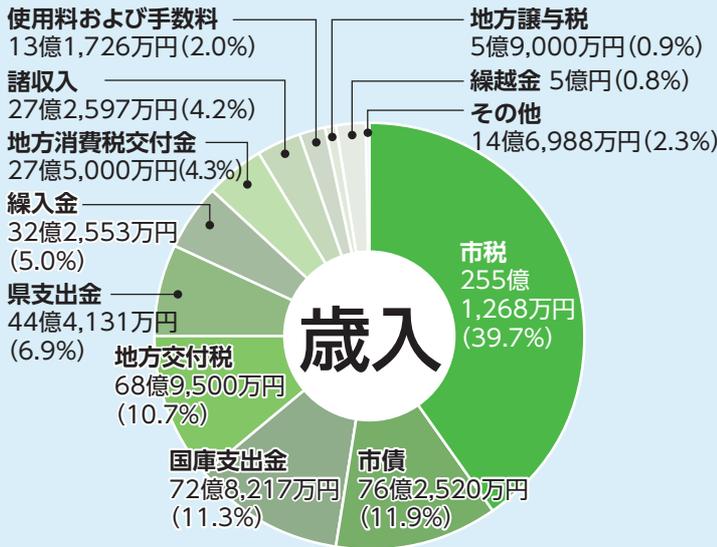
## 特別会計のポイント

- 国民健康保険は、国保運営の都道府県単位化に伴い、15.4%減
- 地方卸売市場事業は公債費の減により、38.9%減
- 駐車場事業は、徳山駅前駐車場の改修工事の減に伴い、25.6%減





# 一般会計・歳入歳出予算 643億3,500万円



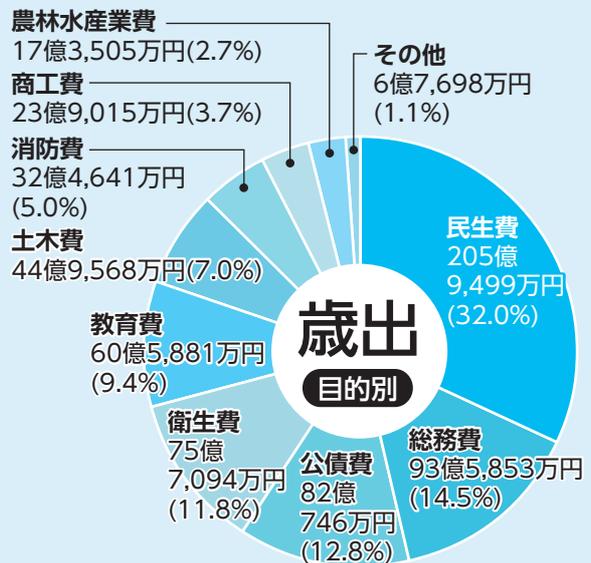
## 歳入のポイント

- 市税は、固定資産税が減となるものの、法人市民税などが増になることから、総額で1.8%増
- 国庫支出金は、子どものための教育・保育給付費負担金などが増額となるものの、社会資本整備総合交付金などの減により、総額で12.3%減
- 市債は、庁舎建設事業や中心市街地施設整備事業の進捗、地域総合整備資金貸付事業、臨時財政対策債の減などにより、総額で35.5%減



## 歳出のポイント

- 総務費は、庁舎建設事業や地域総合整備資金貸付事業などの減額により、31.3%減
- 民生費は、保育施設の運営経費などが増額となったものの、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計への繰出金などの減額により、全体で2.2%減
- 農林水産業費は、畜産業の収益力強化を図るための施設整備補助金の増額などにより、39.0%の増
- 商工費は、中小企業金融対策事業や地方卸売市場事業特別会計繰出金などの減額により、17.3%減
- 土木費は、徳山駅周辺整備事業やコンビナート電力利活用推進事業などの減額により、35.4%減
- 教育費は、小中学校改修事業、中学校普通教室空調設備整備事業などの増額により、8.0%増



※( )内は構成比です。

## ことばの説明

### 歳入

- 市税…個人市民税、法人市民税、固定資産税、都市計画税、軽自動車税など
- 地方交付税…地方自治体のサービス水準を一定に保つため、国税のうち、所得税、法人税、酒税などの一定割合が国から交付されるもの
- 市債…施設の建設や道路などの整備のために借入れる資金(借入金)

### 歳出

- 総務費…市の全般的な管理事務や共通的に必要な経費
- 民生費…子どもや高齢者、障害者福祉などに必要な経費
- 衛生費…ごみ処理や保健衛生、環境保全などに必要な経費
- 公債費…市が借り入れた市債(借入金)返済のための経費

# 社会で育む少子化対策プロジェクト

## 子どもの明るい未来サポート事業



予算額 **584万円**

家庭や学校、地域が連携して、子どもたちが夢と希望を持って成長していける地域社会の実現をめざします。

**主な内容**

- 子どもの居場所づくりのモデル実施
- 子どもの貧困問題などに関する啓発セミナーの開催

**財源内訳**

国・県の負担額	150万円
市の負担額	34万円
その他	400万円

**問合せ** 次世代支援課  
☎0834-22-8457

## 地域型保育・施設型給付事業



予算額 **20億8,265万円**

0歳から2歳児を保育する小規模保育施設と事業所内保育施設、および施設型給付を受ける施設に対し運営費を給付します。

**主な内容**

- 小規模保育施設(4施設)
- 事業所内保育施設(1施設)
- 私立幼稚園(5施設)
- 私立保育所(10施設)
- 認定こども園(3施設)

**財源内訳**

国・県の負担額	11億7,469万円
市の負担額	6億3,202万円
その他	2億7,594万円

**問合せ** 保育幼稚園課  
☎0834-22-8455

## 母子健康診査事業



予算額 **1億5,855万円**

新たに、産後うつや新生児への虐待の予防を図るため、産婦健康診査を実施します。

**主な内容**

- 妊婦健康診査
- 産婦健康診査
- 乳幼児健康診査

**財源内訳**

国・県の負担額	413万円
市の負担額	1億5,442万円

**問合せ** 健康づくり推進課  
☎0834-22-8553

## 小中学校改修事業



予算額 **6億756万円**

安心して快適に学べる教育環境確保のため、大規模改修や非構造部耐震改修を実施します。

**主な内容**

- 久米小学校舎増築関連工事
- 屋体非構造部改修
- 外壁改修
- トイレ改修
- 熊毛中水道接続

**財源内訳**

国や県の負担額	2,000万円
市の負担額	5億6,756万円
(うち借入金)	4億6,270万円
その他	2,000万円

**問合せ** 教育政策課  
☎0834-22-8533

## 中学校普通教室空調設備整備事業



予算額 **3億6,678万円**

安心して快適に学べる教育環境確保のため、中学校の普通教室に空調設備を設置します。

**主な内容**

- 整備工事(第1期工事分 5校)
- 実施設計(第2期工事分 9校)

**財源内訳**

国や県の負担額	4,889万円
市の負担額	2億8,789万円
(うち借入金)	2億3,820万円
その他	3,000万円

**問合せ** 教育政策課  
☎0834-22-8533

## 奨学金貸付等基金事業



予算額 **170万円**

新たに、低所得者への給付型奨学金と大学等卒業後に市内定住の意志がある学生への貸付型奨学金を実施します。

**主な内容**

- 一般奨学金(学校区分ごと)の貸付
- ①●貸付型「定住促進奨学金」(①に月額1万円上乗せ)
- 給付型「修学支援奨学金」(①に月額1万円上乗せ)

**財源内訳**

市の負担額	7万円
その他	163万円

**問合せ** 教育政策課  
☎0834-22-8532

# 揺るぎない安心安全プロジェクト

## 西消防署整備事業



予算額 **1億9,340万円**

老朽化した西消防署を建て替え、効果的かつ機能的な消防体制を確保します。

### 主な内容

- 新南陽総合支所解体工事
- 西消防署改築実施設計

### 財源内訳

市の負担額 1億9,340万円  
(うち借入金 1億9,110万円)

問合せ 消防総務課  
☎0834-22-8754

## 救急業務高度化推進事業



予算額 **4,108万円**

高規格救急自動車の更新、救急救命士の養成などにより、市民の安心・安全を守ります。

### 主な内容

- 高規格救急自動車(西部)
- 救急救命士・指導救命士養成

### 財源内訳

国・県の負担額 2,928万円  
市の負担額 1,180万円  
(うち借入金 800万円)

問合せ 消防総務課  
☎0834-22-8754

## 庁舎建設事業



予算額 **27億1,909万円**

災害時における行政機能の維持と市民の利便性の向上を図るため、新庁舎を建設します。

### 主な内容

- 新庁舎建設工事

### 財源内訳

国・県の負担額 3億3,500万円  
市の負担額 18億115万円  
(うち借入金 17億3,920万円)  
その他 5億8,294万円

問合せ 庁舎建設課  
☎0834-22-8153

## 古川跨線橋整備事業



予算額 **9,431万円**

老朽化に伴う掛け替えに向けて、通学路安全対策や渋滞対策など、必要な準備を進めます。

### 主な内容

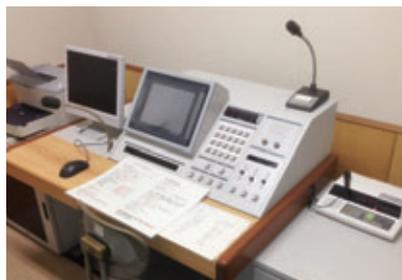
- 調査設計
- 渋滞対策工事
- 代替通学路安全対策工事

### 財源内訳

国・県の負担額 3,850万円  
市の負担額 5,581万円  
(うち借入金 2,550万円)

問合せ 道路課  
☎0834-61-4415

## 防災情報収集伝達システム整備事業



予算額 **4億4,793万円**

災害情報や避難勧告などの伝達、情報収集などを行なうための防災情報収集伝達システムを整備します。

### 主な内容

- システム整備工事

### 財源内訳

国・県の負担額 2,220万円  
市の負担額 4億2,373万円  
(うち借入金 3億7,500万円)  
その他 200万円

問合せ 防災危機管理課  
☎0834-22-8208

## 自主防災組織育成事業



予算額 **282万円**

地域防災力を向上するため、自主防災組織の主体的な活動を支援します。

### 主な内容

- (仮称)防災シンポジウムの開催
- 自主防災組織活動支援補助金

### 財源内訳

国・県の負担額 30万円  
市の負担額 252万円

問合せ 防災危機管理課  
☎0834-22-8208

# 自立した地域づくりプロジェクト

## 市民センター管理運営事業



予算額 **1億2,040万円**

地域住民が主体の地域づくりと、生涯学習活動を推進する地域の拠点施設の運営を行います。

**主な内容**

- 各市民センターの管理・運営

**財源内訳**

市の負担額	1億1,683万円
その他	357万円

**問合せ** 地域づくり推進課  
☎0834-22-8412

## 地域づくり支援事業



予算額 **532万円**

地域住民の自主的・主体的な地域づくりや、地域課題の解決のために取り組む活動の支援を行います。

**主な内容**

- 地域創発事業補助金
- 地域づくり人材育成研修の実施

**財源内訳**

市の負担額	132万円
その他	400万円

**問合せ** 地域づくり推進課  
☎0834-22-8412

## 共創プロジェクト事業



予算額 **4,961万円**

地域団体などの多様な主体同士の連携による地域の課題を解決する活動を支援し、「共創の地域づくり」の実現をめざします。

**主な内容**

- 共創プロジェクト事業補助金

**財源内訳**

国・県の負担額	2,480万円
市の負担額	2,481万円

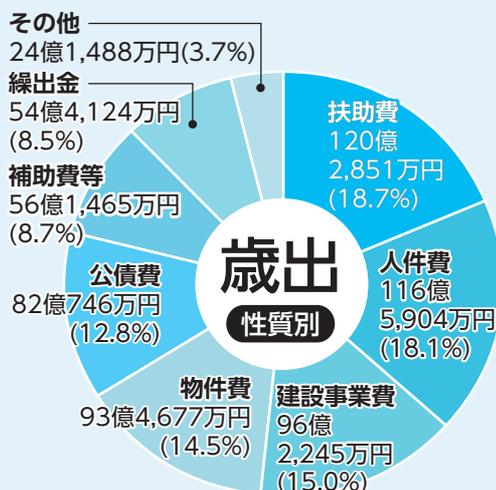
**問合せ** 地域づくり推進課  
☎0834-22-8412

### ■ 性質別内訳の状況

### 平成30年度一般会計歳出予算の内訳(性質別)

性質別内訳は、その経済的性質を基準として分類したものです。

このうち、人件費、扶助費、公債費は、その支出が義務付けられ任意に節減できない経費で、その割合が高くなると自由に使えるお金が少なくなります。近年、少子高齢化などによる社会保障経費の増大により、扶助費が増加傾向にあります。今後とも、財政の健全化に取り組んでいきます。



※合計に合わせて、端数調整を行っているものがあります。  
※( )内は構成比です。

## 市民センター整備事業



予算額 **1億6,205万円**

安心安全に使用できるよう計画的に整備・改修を行います。

**主な内容**

- 長穂市民センター・支所の実施設設計、旧長穂小学校等解体工事
- 遠石市民センターの基本・施設設計
- 中央地区市民センター駐車場整備

**財源内訳**

市の負担額	1億1,505万円
(うち借入金)	1億1,100万円
その他	4,700万円

**問合せ** 地域づくり推進課  
☎0834-22-8412

# まちじゅう賑わいプロジェクト

## 観光行事事業



予算額 **2,533万円**

地域の特色ある観光資源を活用した観光行事などを支援し、交流人口や消費の拡大を図ります。

### 主な内容

- 市内で行われる観光行事への補助金

### 財源内訳

市の負担額	2,349万円
(うち借入金)	140万円)
その他	184万円

問合せ 観光交流課  
☎0834-22-8372

## 市街地循環線運行実証事業



予算額 **1,750万円**

徳山駅周辺から動物園までの区間を循環運行し、来訪者の回遊性や賑わいの促進の効果、市街地パークアンドライドについて検証します。

### 主な内容

- 市街地循環バスの実証運行

### 財源内訳

市の負担額	1,750万円
-------	---------

問合せ 都市政策課  
☎0834-22-8426

## 徳山駅周辺整備事業



予算額 **4億9,324万円**

快適で利便性の高い徳山駅周辺整備を進め、都市の拠点づくりにより、中心市街地の活性化を図ります。

### 主な内容

- 北口駅前広場の整備工事

### 財源内訳

国・県の負担額	6,271万円
市の負担額	4億3,053万円
(うち借入金)	3億7,250万円)

問合せ 中心市街地整備課  
☎0834-27-0070

## 交通結節点環境整備事業



予算額 **734万円**

JR新南陽駅での公共交通利用者の利便性向上や環境改善を図ります。

### 主な内容

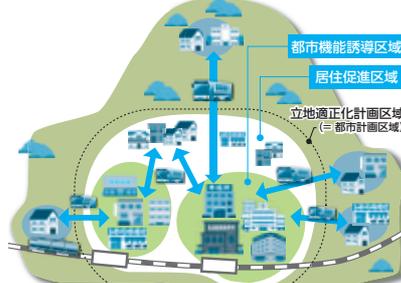
- 駅前広場の路線バスや送迎車停車場などの一体的な整備

### 財源内訳

市の負担額	34万円
その他	700万円

問合せ 都市政策課  
☎0834-22-8426

## 集約型まちづくり推進事業



予算額 **749万円**

集約型まちづくりに向けた「立地適正化計画」の策定に向け、居住促進区域の設定や居住促進を図る施策などを検討します。

### 主な内容

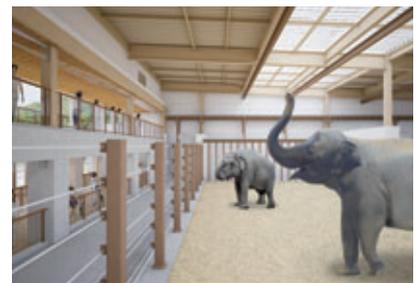
- 立地適正化計画居住促進区域等検討業務

### 財源内訳

市の負担額	749万円
-------	-------

問合せ 都市政策課  
☎0834-22-8426

## 動物園リニューアル事業



予算額 **5億3,784万円**

動物や自然環境の素晴らしさを体感できる動物園をめざし、リニューアルを進めます。

### 主な内容

- 新ゾウ舎建設工事
- ゾウ屋外飼育場の一部整備

### 財源内訳

国・県の負担額	3,135万円
市の負担額	5億649万円
(うち借入金)	4億880万円)

問合せ 徳山動物園  
☎0834-22-8640

# 産業活力・富の創造プロジェクト

## 新規就農者パッケージ支援事業



予算額 **8,096万円**

技術研修、農地・住居の確保、機械・施設整備をパッケージで支援することにより、若者を中心とした新たな担い手の確保と育成を図ります。

**主な内容**

- 新規就農者への機械・施設整備等の支援

**財源内訳**

国・県の負担額	2,443万円
市の負担額	1,483万円
その他	4,170万円

問合せ 農林課  
☎0834-22-8356

## 企業立地促進事業



予算額 **2億1,014万円**

事業所の新設・増設などを行った事業者を支援し、新たな雇用の創出と税収の増を図ります。

**主な内容**

- 事業所等設置奨励補助金

**財源内訳**

市の負担額	2億1,013万円
その他	1万円

問合せ 商工振興課  
☎0834-22-8223

## 港湾整備県事業負担金



予算額 **1億1,770万円**

周南コンビナートの国際競争力の強化と、海上輸送の安全性・効率性の向上のため、県が行う徳山下松港の港湾建設事業費の一部を負担します。

**主な内容**

- 県事業負担金(港湾施設改良、フェリーターミナル再編整備など)

**財源内訳**

市の負担額	1億1,469万円
(うち借入金)	9,980万円
その他	301万円

問合せ 河川港湾課  
☎0834-61-4419

## 地産地消促進事業



予算額 **311万円**

地産地消推進店やしゅうなんブランドの認定、市内外への情報発信により、地元農産物などの供給を支援し、地産地消を促進します。

**主な内容**

- 地産地消推進店、しゅうなんブランドの認定
- 6次産業化・地産地消推進交付金

**財源内訳**

市の負担額	310万円
その他	1万円

問合せ 農林課  
☎0834-22-8369

## 女性雇用マッチング事業



予算額 **300万円**

地域で女性の雇用を支える仕組みを構築し、未就職女性の就職への意識付けから企業とのマッチングまで一貫して取り組みます。

**主な内容**

- 女性雇用促進のためのWEBサイト構築
- 女性と企業を対象とした意識啓発

**財源内訳**

国・県の負担額	150万円
市の負担額	150万円

問合せ 商工振興課  
☎0834-22-8373

## 水素イノベーション創出事業



予算額 **200万円**

中小企業の水素関連技術に関する知識習得と、企業間交流、研究開発を支援し、水素関連産業の創出を図ります。

**主な内容**

- 水素関連産業創出勉強会
- 水素関連製品等研究開発事業補助金

**財源内訳**

国・県の負担額	100万円
市の負担額	100万円

問合せ 商工振興課  
☎0834-22-8223

# 中山間地域振興プロジェクト

## 生活交通活性化事業



予算額 **3,151万円**

中山間地域などにおける移動手段を確保するとともに、公共交通機関の利用促進に取り組みます。

### 主な内容

- コミュニティ交通の運行委託

### 財源内訳

国・県の負担額	418万円
市の負担額	2,638万円
(うち借入金)	1,000万円)
その他	95万円

問合せ 都市政策課  
☎0834-22-8426

## 中山間地域戦略プロジェクト事業



予算額 **627万円**

鹿野地区では夢プランづくりやその実現に向けた取り組みを、また須金地区では生活支援システムを構築する取り組みなどを推進します。

### 主な内容

- 過疎地域活性化交付金(鹿野地区)
- 地域おこし協力隊の配置(須金地区)

### 財源内訳

市の負担額	227万円
その他	400万円

問合せ 地域づくり推進課  
☎0834-34-3572

## Uターン促進事業



予算額 **1,697万円**

県外の移住フェアでの情報発信や、中山間地域での空き家の改修、起業の支援などを通じて、本市への移住を促進します。

### 主な内容

- 移住フェアなどでの情報発信
- 中山間での空家改修支援など

### 財源内訳

市の負担額	1,659万円
その他	38万円

問合せ 地域づくり推進課  
☎0834-22-8290

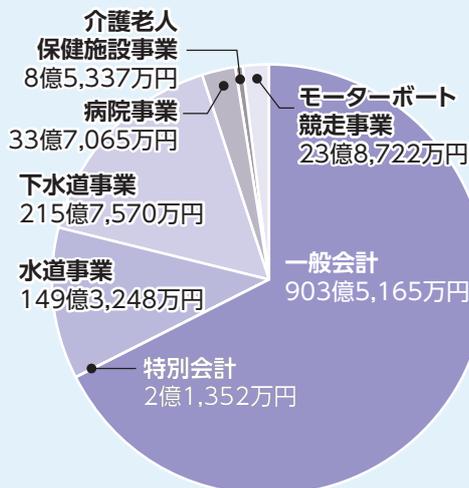
## 借入金(市債)の状況

平成30年度末借入金残高見込み(全会計)  
**1,336億8,458万円**

自治体では、その年に使うお金は、同じ年度で得る収入(市税や地方交付税など)で賅わなければならないため、多額の費用を必要とする公共事業は、その年の収入だけでは実施することが困難です。

また、公共事業の効果は長期間に及ぶことから、世代間の負担を均等にするを目的に、借入れをすることが認められています。

市では、借入れに際し、返済に当たって国からの財政支援のある有利な借入金(合併特例債など)の選択に努めています。



※端数処理の関係上、数値の集計が合計欄と合わない場合があります。

## 離島航路対策事業



予算額 **9,624万円**

離島航路の安定維持と利用促進を図るため、大津島巡航株式会社の運営費を補助します。

### 主な内容

- 大津島巡航株式会社の運営によって生じる欠損額を補助

### 財源内訳

国・県の負担額	6,957万円
市の負担額	2,667万円

問合せ 都市政策課  
☎0834-22-8426

# 将来に向けた行財政経営プロジェクト

## 市有建築物情報電子化事業



予算額 **1,180万円**

建築物図面を電子化し、収納スペースを縮小するとともに、業務の効率化・迅速化と、データ共有による効率的な施設維持管理を行います。

**主な内容**

- 建築物図面電子化業務委託

**財源内訳**

市の負担額 1,180万円

**問合せ** 建築課  
☎0834-22-8389

## 職員研修事業



予算額 **1,202万円**

職員の資質向上と組織の活性化を図るため、計画的・体系的な研修を実施します。

**主な内容**

- 人材育成に向けた研修の実施
- 専門研修機関などへの派遣

**財源内訳**

市の負担額 1,053万円  
その他 149万円

**問合せ** 人事課  
☎0834-22-8253

## (仮称)西部地区学校給食センター建設事業



予算額 **1,202万円**

老朽化した徳山西および新南陽学校給食センターを統合した新たな給食センターを、PFI方式により整備します。

**主な内容**

- モニタリング業務委託

**財源内訳**

市の負担額 1,202万円

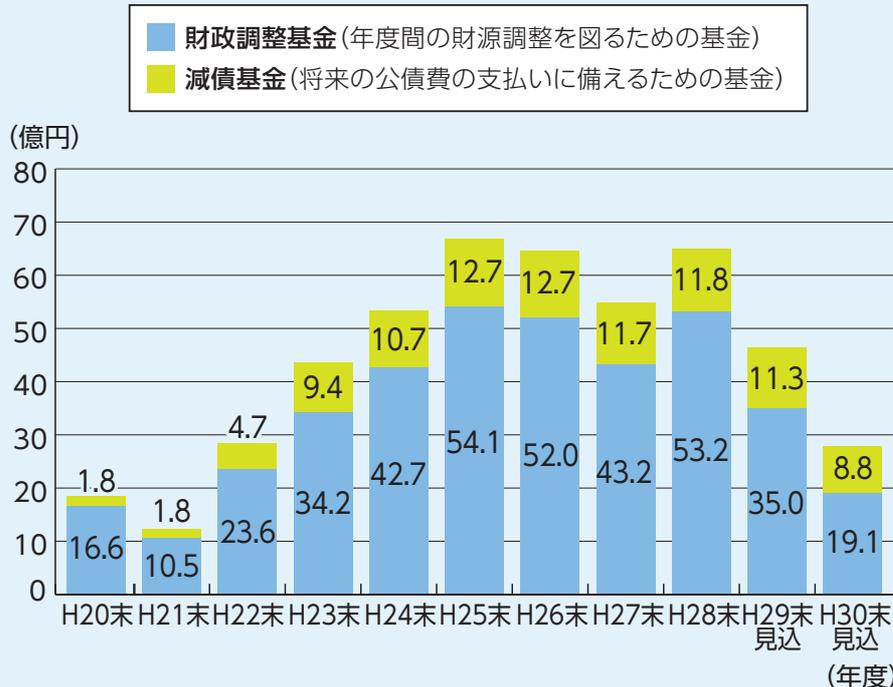
**問合せ** 学校給食課  
☎0834-22-8418

## ■ 基金(貯金)の推移

市の基金のうち、自由に取崩しができる基金は、財政調整基金と減債基金です。

近年、市税や地方交付税などの歳入が大きく減少する中、高齢化による社会保障費や、公共施設等の老朽化対策に要する経費などの増大により、大幅な財源不足が生じています。この財源調整のために財政調整基金を取り崩しており、基金の残高は大きく減少してきている状況です。

そのため市では、今後の財源不足の解消に向けた歳入、歳出両面からの抜本的な取り組みを掲げた「緊急財政対策」を策定し、財政調整基金に頼らない財政運営をめざして、取り組みを進めています。



## その他重点事業

### 美術博物館特別展覧会等開催事業



予算額 **1,104万円**

本市にゆかりのある作家の作品による、特色のある本市ならではの展覧会を開催します。

#### 主な内容

- 特別展覧会  
「生誕100年 林忠彦展(仮称)」の開催

#### 財源内訳

市の負担額	324万円
その他	780万円

問合せ 文化スポーツ課  
☎0834-22-8622

### 英語教育推進事業



予算額 **4,903万円**

ネイティブとの会話などを通じて、グローバルな視点を育てるため、小・中学校に外国語指導助手を配置します。

#### 主な内容

- 外国語指導助手の配置

#### 財源内訳

市の負担額	4,903万円
-------	---------

問合せ 学校教育課  
☎0834-22-8543

### 小中学校教材教具費等



予算額 **2億2,290万円**

タブレット型情報端末を段階的に導入するとともに、校内無線LAN環境の整備や授業での有効活用のための研修を実施します。

#### 主な内容

- タブレット型情報端末の導入
- 教材、教具等の購入

#### 財源内訳

国や県の負担額	185万円
市の負担額	2億2,105万円

問合せ 学校教育課  
☎0834-22-8543

### 体育施設整備事業



予算額 **1億3,626万円**

安全で快適な利用と、施設の維持・向上を図るための整備を行います。

#### 主な内容

- 鹿野総合体育館屋根改修
- 総合スポーツセンター空調設備改修
- 熊毛武道館水道接続工事

#### 財源内訳

市の負担額	1億3,626万円
(うち借入金)	1億3,000万円)

問合せ 文化スポーツ課  
☎0834-22-8624

### 中央図書館耐震化事業



予算額 **5,686万円**

中央図書館の耐震化を図り、利用者の安心安全を確保します。

#### 主な内容

- 中央図書館耐震補強工事

#### 財源内訳

国や県の負担額	654万円
市の負担額	5,032万円
(うち借入金)	4,950万円)

問合せ 中央図書館  
☎0834-22-8682

### 人権啓発事業



予算額 **224万円**

市民一人ひとりの人権意識を高めるため、学校や市民センターなど身近なところで講演会やイベントを開催します。

#### 主な内容

- 人権講演会・イベントの開催
- 人権擁護委員などと連携した啓発活動

#### 財源内訳

国や県の負担額	7万円
市の負担額	217万円

問合せ 人権推進課  
☎0834-22-8456

### 休日夜間急病診療所整備事業



予算額 **400万円**

老朽化が進み、利便性にも課題のある現在の施設について、徳山中央病院に近い市営住宅建替え予定地の一角に移転・建替えを進めます。

**主な内容**

- 地質調査及び測量

**財源内訳**

市の負担額	400万円
(うち借入金)	400万円)

**問合せ** 地域医療課  
☎0834-22-8082

### 成人保健指導事業



予算額 **244万円**

健康づくりの意識を高め、生活習慣病予防と健康寿命を延ばすことを目的に「しゅうなんスマートライフチャレンジ」を推進します。

**主な内容**

- チャレンジウォーキング等の実施
- 健康相談や訪問による保健指導

**財源内訳**

国や県の負担額	107万円
市の負担額	137万円

**問合せ** 健康づくり推進課  
☎0834-22-8553

### 福祉政策アドバイザー事業



予算額 **31万円**

福祉行政について、豊富な経験と知識のある外部の人材から、常時助言を受けられる体制を整え、職員の資質の向上とより良い福祉施策を推進します。

**主な内容**

- 福祉政策アドバイザーの設置

**財源内訳**

市の負担額	31万円
-------	------

**問合せ** 地域福祉課  
☎0834-22-8462

### 公営住宅等整備事業



予算額 **8,226万円**

公営住宅等長寿命化計画に基づき、老朽化が著しい既存住宅の解体、建替えを行います。

**主な内容**

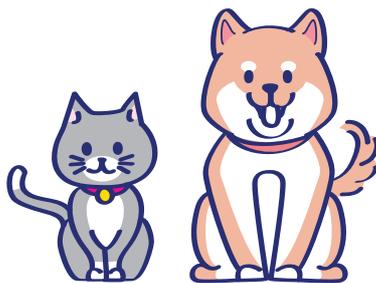
- 周南第1住宅第二工区解体工事
- 周南第1住宅C・D棟設計委託

**財源内訳**

国や県の負担額	3,851万円
市の負担額	3,850万円
(うち借入金)	3,850万円)
その他	525万円

**問合せ** 住宅課  
☎0834-22-8334

### 環境衛生推進事業費



予算額 **237万円**

生活環境の保全と快適な環境づくりを行い、公衆衛生の向上を図ります。引き続き、犬・猫に対する不妊去勢手術の助成を行います。

**主な内容**

- 犬猫不妊去勢手術補助金
- 浸水被害の発生時、消毒作業を実施

**財源内訳**

市の負担額	230万円
その他	7万円

**問合せ** 環境政策課  
☎0834-22-8322

### 戸籍住民基本台帳費



予算額 **2,262万円**

マイナンバーカードを使って、住民票の写しや戸籍証明書などを、コンビニエンスストア等で交付するサービスを開始します。

**主な内容**

- 戸籍・住民基本台帳にかかる事務
- 住民票の写し、戸籍証明書などのコンビニ交付サービス

**財源内訳**

市の負担額	2,262万円
-------	---------

**問合せ** 市民課  
☎0834-22-8291

## シティプロモーション事業



予算額 **1,696万円**

市民力を生かした取り組みや、各種メディアを活用した戦略的なプロモーション活動などにより、本市の魅力を広く市内外へ発信します。

### 主な内容

- 市民連携事業の支援
- 国内各地の自治体訪問、PR活動

### 財源内訳

市の負担額	1,683万円
その他	13万円

問合せ 広報戦略課  
☎0834-22-8238

## 周南緑地整備事業



予算額 **1,900万円**

公園利用者の利便性向上のため、メインエントランスへの接続部となる第1駐車場の再整備や、老朽化した遊具の長寿命化対策を行います。

### 主な内容

- 第一駐車場北側の整備工事
- 遊具塗装などの補修

### 財源内訳

国や県の負担額	800万円
市の負担額	1,100万円
(うち借入金)	720万円)

問合せ 公園花とみどり課  
☎0834-22-8446

## 橋りょう長寿命化対策事業



予算額 **2億100万円**

老朽化が著しく修繕などが必要な橋りょうの予防保全を行い、長寿命化を図ります。

### 主な内容

- 橋りょう点検
- 橋りょう補修工事

### 財源内訳

国や県の負担額	1億1,000万円
市の負担額	9,100万円
(うち借入金)	5,260万円)

問合せ 道路課  
☎0834-61-4416

## ■ 人口1人当たりの市税収入(平成28年度決算)

市税は市民税や固定資産税、軽自動車税などで歳入の根幹を成すものです。総人口で割った市民1人当たりの市税収入は17万6,544円で、県内市の第1位です。



## 道路ストック点検整備事業



予算額 **4,180万円**

計画的な点検、更新により、安心安全な道路環境の整備を進めます。

### 主な内容

- 道路空洞調査
- トンネル点検調査
- 舗装工事

### 財源内訳

国や県の負担額	1,540万円
市の負担額	2,640万円
(うち借入金)	1,890万円)

問合せ 道路課  
☎0834-61-4416